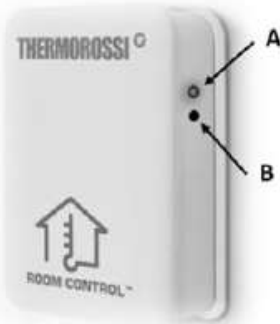


ROOM TEMPERATURE THERMOSTAT: ROOM CONTROL

1 製品仕様



設定温度範囲	-9.5～45.5°C
精度	±0.5°C
保護等級	IP20
電源	CR2477N 3V ボタン電池
推定電池寿命	約1年
送信周波数	433.20 MHz
送信頻度	5分毎
床からの推奨設置高さ	1.5m
最長送信距離	7～8m

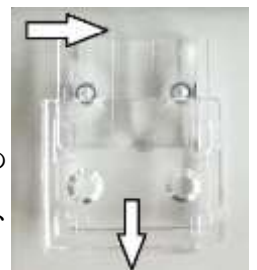
2 警告

はじめに、このマニュアルを注意深くお読みください。デバイスの設置と使用に関してはすべての地域、国、およびヨーロッパの規制に従って下さい。このデバイスは屋内での使用のみを目的としており、本来の目的にのみ使用する必要があります。いかなる方法でも修理を試みないでください。このデバイスは、身体的、感覚的、精神的障害のある人（子供を含む）、または経験やノウハウが不足している人が使用するように設計されていません。彼らの安全に責任を持ってご使用下さい。お子様がデバイスで遊んでいないことを確認するように監督して下さい。バッテリーなど一部の部品は簡単に飲み込むことができます。このような場合は、直ちに医師の診察を受けてください。降水、湿度、液体、およびデバイス内の電子回路を腐食させる可能性のあるすべての物質からデバイスを保護して下さい。濡れた場合は、バッテリーを取り外し、室温で可能な限り乾かして下さい。埃や汚れた環境で使用したり、保管したりしないでください。高温になるとデバイスの寿命が短くなり、バッテリーが損傷したり、特定のプラスチックが変形したり溶けたりする可能性があるため、非常に高温の場所に保管しないでください。非常に寒い場所に保管しないでください。再加熱すると内部に湿気が発生し、電子回路が損傷する可能性があります。落としたり、ぶつけたり、振ったりしないでください。このような不注意により、デバイスが破損する可能性があります。デバイスの洗浄に腐食性の化学物質、苛性溶液、または洗剤を使用しないでください。バッテリーは購入日から6ヶ月の保証が付いています。欠陥の原因が不適切な使用またはこのマニュアルに記載されている指示に従わない使用である場合、保証は無効になります。

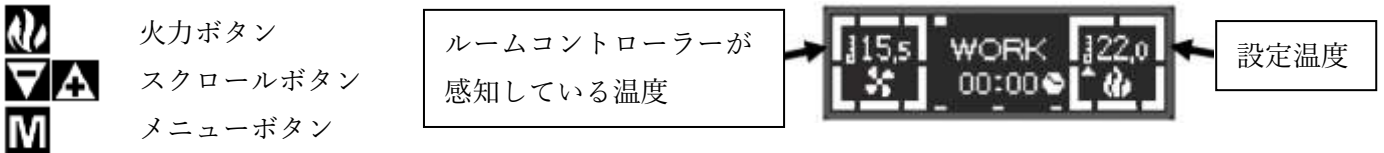
製品の耐久年数が終了して廃棄する場合、各自治体の規則に従って正しく廃棄して下さい。

3 設置

サーモスタットは、熱源、窓、ドア、およびドラフト、ヒートポンプ、エアコンなど、体感温度を変える可能性のあるものから離して配置する必要があります。床から約1.5メートルの高さに設置し、実際の部屋の温度を感知できるように、周囲に50～60cmの自由に流れる空気の領域があることを確認することをお勧めします。さらにデバイスは、ストーブから最大7～8メートルの距離に設置する必要があり、通信を妨害する可能性のある家具やドア壁などの障害物があることはありません。デバイスを壁に固定するには、後部壁マウントにあるタブを押して、固定プレートをプルダウンして取り外します（右の図を参照）。次に、付属のプラグを使用して固定プレートを壁に固定し、デバイスを接続します。壁に穴を開けたくない場合は、付属のフックとループテープを使用してデバイスを壁に取り付けることができます。



4 表示例



5 使用方法と接続方法

デバイスを初めて使用する場合は下記手順に従って下さい。

- 1) ルームコントローラーのボタン B を押して下さい。A の LED が数秒で点灯します。
- 2) ストープのメニューボタンを「ROOM CONTROL」と表示されるまで繰り返し押して下さい。



- 3) スクロールボタン (上+/下-ボタン) のいずれかを押すと下図の表示で有効になります。



- 4) ルームコントロールのボタン B をもう一度押して下さい。
- 5) ストープの火力ボタンを押すと、下記表示になります。



ルームコントロールとストーブが接続されました。

- 6) この時点で、使用可能な2つのモード、エコモードまたはスイッチモードのいずれかを選択できます。これらについては、以下で説明します。モードを選択するには、スクロールボタン (上矢印または下矢印) のいずれかを押すだけです。優先モードを選択したら、メニューボタンを押して確認します。

6 エコモード機能 (運転中の温度調整のみ)

エコモード機能では、ストーブのディスプレイで顧客が設定した温度に応じて、ストーブの火力レベルと送風ファンレベルを自動的に調整します。スクロールボタン (上+/下-) を押すだけで、いつでも設定温度を変更できます。ストーブは、火力レベルと送風ファンが最大に設定され、室温が設定温度に近づくと両方のレベルを調整します。設定温度に達すると、火力レベルと送風ファンは最小設定に戻ります。このプログラムを使用する場合、付属の赤外線リモコンは使用できません。

重要: 火力レベルと送風ファンレベルは設定温度によって異なります。設定温度が高すぎるか到達できない場合、ストーブは長期間最大パワーで燃焼する可能性があります。

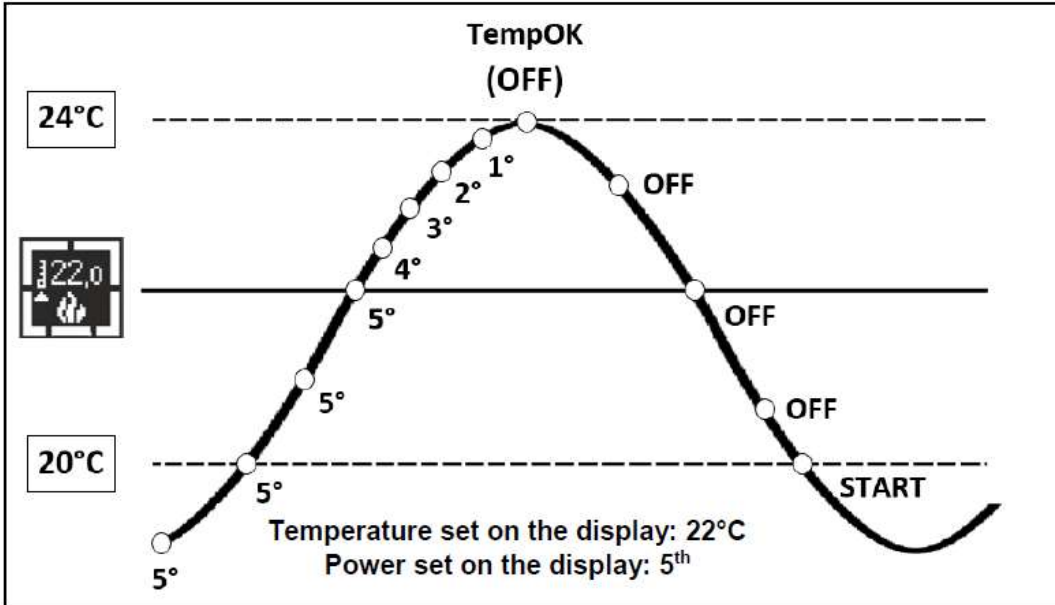
重要: エコモード機能の場合、ストーブはオンとオフを切り替えません。開始と停止は、常にコントロールパネルからフラムボタンを使用するか、プログラミングによって行う必要があります。ストーブへの信号の送信は、周囲の環境の影響を受ける可能性があることに注意してください。壁が厚いと、通常7~8メートルまで届く送信が減少する可能性があります。

7 スイッチモード機能（着火・消火を含む温度調整）

スイッチモード機能では、ストーブは希望のパワーレベルで運転し、設定された室温に到達後それを超えると、ストーブの火力レベル、送風ファンレベルを徐々に低下させます。

室温が設定温度より 2°C高くなると、ストーブを消火します。また 室温が設定された室温より 2°C低くなると、ストーブは自動的に再起動します。スクロールボタン（下矢印または上矢印）を押すと、いつでも希望の室温を変更できます。このプログラムを使用する場合、付属の赤外線リモコンは使用できません。

例)



上記は設定温度 22°C、火力レベル最大（5 レベル）で設定されています。この場合ストーブは 22°Cに達するまで最大火力で運転して超えると火力を弱めます。24°Cに達するとストーブは消火モードになります。室温が 20°Cまで下がるとストーブは再起動します。

注意：このグラフは、建物の断熱材（建物のエネルギー効率クラス）および建物のレイアウト内のストーブの位置に応じて、室温の経過が大きく変化する可能性があるため、一例です。その結果、これらの理由により、ストーブが自動消火または自動再起動に到達できない場合があります。これは、製品の欠陥を示すものではありません。またメーカーは過度の始動にさらされた場合、着火ヒーターの寿命に対するすべての責任を否定します。1日あたり最大3回のオンオフサイクルが許可されます。

8 ルームコントロールの解除

ルームコントロールはいつでも解除出来ます。解除する場合は下記手順に従って下さい。

- 1) コントロールパネルのメニューボタン「ROOM CONTROL」と表示されるまで繰り返し押して下さい。
- 2) スクロールボタン（上+/下-ボタン）のいずれかを押して「DISABLED」を表示させて下さい。



- 3) 表示されたら確認のためメニューボタンを押して下さい。
再設定する場合は上記手順で「Enabled」を表示させて下さい。

9 バッテリーの交換

ルームコントローラーの送信が停止した場合、下の写真の矢印にします様にストーブのディスプレイへ「— — —」が表示されます。これはバッテリー（ボタン電池）を交換する必要があることを示しています。交換するにはコントローラーのケースの外側を下の写真の様に引き上げてケースを開けます。バッテリーケースの端子が汚れていないか確認して下さい。必要に応じてクリーニングして下さい。バッテリーの極性を確認して新しいバッテリーと交換して下さい。古いバッテリーはお住いの地域の規則に従って正しく廃棄して下さい。

